



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 9. 20(火)
No. 22
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

「いきいきぐんぐん週間」で基本的生活習慣と家庭学習の習慣化を！

9月12日（月）から16日（金）の一週間、各ご家庭で生活リズム等の記録に取り組んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

夏休み明けは、生活のリズムを取り戻すのに苦労していた子どももいたようです。夏休みが明けて4週間近くがたち、学校生活のリズムを取り戻した子どもが多くなりました。

今回の「いきいきぐんぐん週間」をきっかけに、さらに基本的生活習慣と家庭学習の習慣化が図れますようご協力をよろしくお願いします。

縦割り班による「無言掃除」で豊かな心を育てます！

今年度は、コロナ禍で中断していた縦割り班による掃除を復活させました。環境ISO委員会が「無言掃除」を呼びかけて、全校で取り組んでいます。昼休みの終了5分前になると放送と音楽が流れます。子どもたちも先生方もそれぞれの掃除担当場所へ移動し、無言掃除を始めます。掃除開始のチャイムが鳴ったら音楽は止めます。しんと静まり返った校舎内外で子どもたちと先生方の無言掃除が続きます。



縦割り班による無言掃除

無言掃除は、気づきの心、思いやりの心、感謝の心を育てることを目的とします。無言で集中して掃除に取り組むと、「こんな所も汚れている」と気づき、となりの掃除場所にも少し入って掃除をしてなかまを思いやり、学校を美しくすることで感謝の心が育ちます。

掃除の時間のタイミングで学校に来られましたら、子どもたちの頑張る様子をぜひ見られて、励ましていただけたらと思います。

☆校長室から独り言19☆

お子さんは将来の夢や目標を持っていますか？

今年度4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年生実施）の児童質問紙調査で、「将来の夢や目標を持っていますか？」という質問がありました。本校児童の回答は、「当てはまる」46.5%（全国平均60.4%、県平均59.6%）という結果でした。昨年度も同じような結果で、本校児童は、将来の夢や目標を持っている割合が、全国や県の平均と比較して低くなっています。また、全国平均も年々減少傾向が続いています。

この欄にたびたび登場させている私の息子も、高校1年生の終わり頃まで、夢や目標が持てていませんでした。高校1年末の成績表を見て愕然としたことを覚えています。成績の順位はほぼ学年最下位。もともと行きたかった高校には入学できず、勉強も野球も中途半端の状態、将来これをしていたいという目標もありませんでした。

この時、私は初めて息子と向き合おうと思いました。高校卒業後どうしたいのか、そのために高校生活の残り2年間をどう過ごすのか、などをじっくり話し合いました。その結果、息子は「将来、高校野球の指導者になる」という目標が定まりました。それで高校教諭の教員免許状を取得できる大学に進学する。指導者になるからには、熊本の高校生に日本の最先端の野球を教えたい。だから東京の野球強豪校に進学して学びたい。そのためには、残りの2年間で勉強してこのくらいの成績を残す必要がある。…と具体的な目標をたてました。

2年生から息子の勉強に取り組む姿勢が大きく変わりました。目標の大学に進学するためには、定期テストでかなりいい成績を残す必要がありました。野球部の監督やメンバーに自分の目標を語り、お願いをして、定期テスト前の3日間は野球部の練習を休ませてもらいました。そんな周囲の理解もあり、目標の大学に進学できました。最終的に高校野球の指導者にはなりませんでした。が、4年間野球を続け、大学日本一も経験しました。

きつい勉強に取り組む学習意欲を持続するためには、明確な夢や目標を持つことが大切ではないでしょうか。たとえ夢や目標が実現しなかったとしても、努力したことは必ずその人の財産になると私は思います。